



謹賀新年



柔道整復を「第二のセカンドオピニオン」に

公益社団法人 栃木県柔道整復師会 会長 田代 富夫

あけましておめでとうございます。今年一年が会員の皆様一

人ひとりにとって好転の年になることを願っております。

さて表題についてですが、セカンドオピニオン自体が「第二の意見」という意味なのに「第二のセカンドオピニオン」なんておかしいと思われる方もいると思います。

私たち柔整師は、骨折、脱臼、打撲、捻挫、挫傷、肉離れが健康保険を使って利用できますので、初検時には、そのような損傷、つまり外傷がないかどうかを中心に確認しています。

しかし、皆さんも感じているように今の医療機関では、あまりそこに力点を置いていません。それは、初診時の診察に表れていると思います。ほとんどの医療機関では、まずX線検査が中心となっていて、触診や可動検査などがほとんどされていません。そのために軟部組織の損傷を伴う潜在的な外傷を見逃してしまうことが多くみられると感じています。

世界的にも多く利用されている家庭の医学などにあ

る「MSD マニュアル家庭版」の中に、次のような記載があります。

「X線検査では骨しか確認できないため、通常、医師が捻挫や挫傷、腱の損傷などを特定する際は、たとえ重度の損傷に対してでも、参考にはなりません。」

実際に患者さんから「医療機関ではX線検査で画像だけを見て説明された」という話をよく聞きます。若い方の多くは「特に悪いところはありませんね」「骨は異常ありません」などとだけ言われ、高齢者の場合はほとんどが脊柱管狭窄や骨の変形などのいわゆる「老化現象」、もしくは単に坐骨神経痛とだけ言われ、触る、動かす、可動を見るなどはおろか、どのようなときに、どこに、どんな症状が現れるのかさえ、まったく聞かれなかったという方も珍しくありません。

MSD マニュアルにも書かれているように、X線検査は軟部組織損傷の診断において参考にはならないために「軟部組織の損傷を伴う潜在的な外傷が見逃されていることが多い」というのが、私たち柔整師の実感です。

特に高齢者は、脆弱性骨折など軽微な原因で骨折を引

1月号 CONTENTS

Vol.376 とちのき

年頭所感	1
柔整学のさきがけ 論文総数174本	2
日整柔道大会	3
保険部だより／関東・東京合同連絡会議	4
日整学術・生涯学習講習会／母校愛という名のもとに	5

新学術部シリーズ／もののふコラム	6
門外不出の知恵と技を大公開／第3回宇都宮支部会・新年会	7
新春特集 とちぎ“健康かも”包みもの対決	8
My Box／支部だより	9
行事予定／お知らせ／川柳／編集後記他	10

き起こすことがあります。脆弱なのは骨だけではなく、筋肉や靱帯、腱などの軟部組織も年齢とともに脆弱となっており、日常生活の動作や酷使などでも軟部組織の損傷が起こりやすくなっています。

高齢者だけでなく MSD マニュアルには、「スポーツ外傷は、運動選手やスポーツに参加する人によくみられます。従来からスポーツ外傷として捉えられがちな外傷の中には、スポーツをしていない人にも起こるものがあります。例えば、主婦や工場労働者は、テニスをしていなくてもしばしばテニス肘になることがあります。」とも記載されており、われわれ柔道整復師と同様のとらえ方をしているのがわかります。

これは、このような傷め方など、X線検査だけでは診断できない筋肉、靱帯、腱、結合組織などの軟部組織の損傷を伴う外傷は、疼痛などが発症した経緯をよく確認し、触診や可動検査などを含めた診断をしないと見落とされる場合があるということを示唆しています。

したがって、X線画像などを中心に診断することの多い医師と、軟部組織の損傷を中心に身体所見で判断する柔整師とが、それぞれに補完し合うことに、私たちの「第二のセカンドオピニオン」としての存在意義があると考えています。



明治44年頃、接骨家に対する取り締りが厳しくなり、大正元年には免許を持たない接骨家の一斉検挙が実施され、接骨業を営む無資格者とされた者が少なからず摘発されました。こうした背景のもと接骨業の公認を目的とし、大正2年1月に帝国議会請願の草案が完成しましたが、その作成に当たり中心となったのが当県出身の萩原七郎先生でした。

完成した請願書の主意書の中に次のような文言があります。「医ノミ必ズシモ万能ニアラズ・(略)・、接骨尚ホ可アルナリ、元ヨリソノ病状如何ニヨリテ選択スル何ノ不可アラン」つまり、西洋医学が必ずしも万能ではなく西洋医学と伝統医療である接骨による施術は、病状によって選択されるべきものである。と主張しています。接骨の場合も、鍼灸術で使用されている経穴に基づく「当て身穴」を応用していたため、広い意味では西洋医学と対等に認識されうる東洋医学の範疇と考えていたのです。

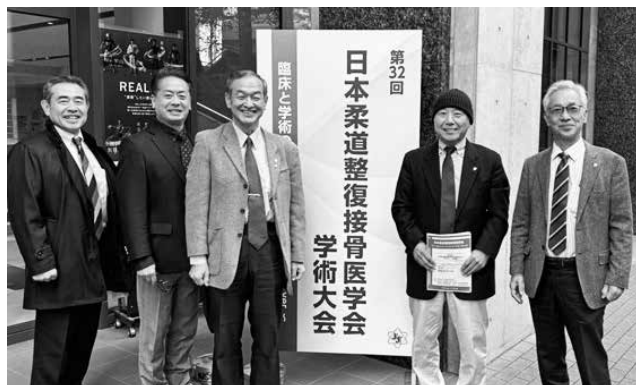
このような萩原七郎先生の意味を引き継ぎ、これから

も医療機関との協力関係を深め、医接連携を推し進めるなど、医師と柔整師が互いに補完し合えるようにしていくことこそ国民のためであり、医療費の適正化にも寄与することになるのではないのでしょうか。

このような私たちの思い、考えを理解していただけるよう、さまざまな機会を通じて県民にも伝えていきたいと思っています。

柔整学のさきがけ 論文総数 174 本

12月3日、名古屋市の名城大学天白キャンパスで「臨床と学術の融合～Head,Neck&Trunk ver.～」をテーマに開催された第32回日本柔道整復接骨医学会学術大会(会期12月2・3日)に、理事5人(田代・江原・鈴木・倉持・石井)が参加してきました。



大会は、講演、シンポジウム、分科会のほか、会員・学生発表などのプログラムがあります。内容もスポーツ外傷・傷害、骨折・脱臼、軟部組織損傷、解剖、画像解析など各分野ごとに会場が分かれていて、以前よりも見学しやすくなっています。

午前中は、それぞれ興味のある分野を自由に回り、午後は塩川光一郎帝京大客員教授の「最古の総合大学『ローリア大』に学ぶ柔道整復の構築と教育」を拝聴してきました。

なお、前日の2日には、帝京大学柔道整復学科から刈屋遵会員(那)が「Cotton 骨折の保存療法における早期荷重の試み」を発表しました。

この柔整学の祭典は、12月18日～1月31日までの間、オンデマンド配信されます。

総務部長 石井士朗

力の限り善戦！ 少年柔道大会代表にフェアプレー賞

昨年 11 月 19 日、日整柔道大会が東京水道橋の講道館において開催され、少年柔道大会（監督：倉持雅之、コーチ：塚原正信）、少年柔道形競技会（監督：山口新二）に挑んできました。

新型コロナも第 5 類感染症移行となりましたが、今大会も感染症対策には十分に配慮した大会となったため、試合・形競技ともに感染症対策のため選手たちは試合直前まで控室で待機、係員の呼び出しによって即座に試合開始となります。この方式の難点は他県の試合が観戦できず、相手がどのようなタイプの選手か開始までわからないことです。

第 32 回日整全国少年柔道大会

当県の初戦の相手は富山県チーム。先鋒の柏崎哲成選手以外、全員が相手選手より小柄でしたが、5 人全員が引き分けと奮戦。代表戦では、大将の柏崎煌大選手が連戦で疲れはあるものの、体格で勝る相手選手を果敢に攻めた結果、旗判定 3 - 0 で 1 回戦を勝ち上がりました。

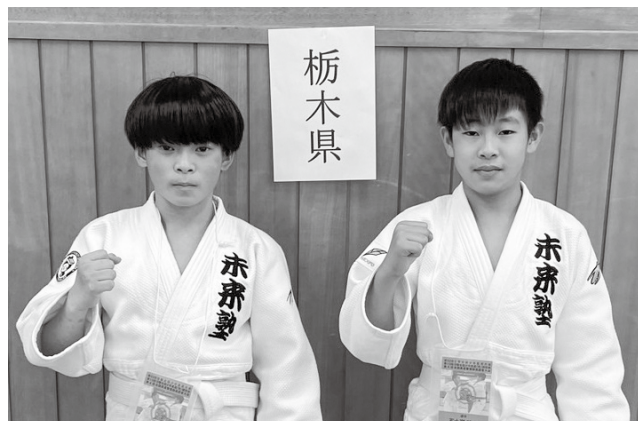
2 回戦の滋賀県との対戦では、先鋒の柏崎哲成選手が引き分けたあと、次鋒の岡田竜ノ助選手と中堅の伊藤美羽選手が一本負けを喫し、後のなくなったわがチームは副将の甲斐萌選手に託すも、善戦もむなしく引き分けとされ、ここで敗戦が決まってしまいました。

全国の舞台で 1 勝したことが、今後の第一歩として来年につながることを期待し、講道館を後にしました。



第 13 回日整全国少年柔道「形」競技会

栃木県代表は、未来塾の上岡瑞貴選手（取・6 年）と五十嵐琉星選手（受・5 年）です。競技順は C ブロッ



ク最終の 11 番でした。

2 人とも研鑽を積んだ技で堂々と競技に挑みましたが、結果は予選ブロック 9 位となり、決勝に進むことは叶いませんでした。

第 4 回全国柔道整復師高段者大会

高段者大会では、当県から「五段の部」に倉井康雄選手、刈屋遵選手の 2 人が参加。倉井選手は池内崇選手（佐賀）と、刈屋選手は上野良知選手（茨城）と対戦し、2 人とも見事な内股で一本勝ちしました。



なお、5 人の少年柔道大会代表選手と監督にフェアプレー賞が、高段者大会の倉井・刈屋両選手には優秀選手賞が贈られました。

日整柔道大会に参加するにあたり、栃柔整大会を含めご協力をいただいた関係者の皆様には心から敬意を表しますとともに、これからも大会を通し業界の発展を願っております。ありがとうございました。

事業部長 倉持雅之



高齢者の健康と医療制度運営の一助に

11月20日、栃木県自治会館にて開催された「後期高齢者医療運営懇談会」に委員として出席してきました。これは当会が栃木県後期高齢者医療広域連合から任命を受けて参加したものです。

医師会、歯科医師会、薬剤師会、健康保険協会、健保組合連合会のほか、その業界を代表する各担当委員14人と共に、県内後期高齢者の現況、保健事業実施計画に関する意見交換などが行われました。

国際医療福祉大学医療福祉部長の山本康弘教授を会長に議事が進められ、栃木県内における後期高齢者の実施状況が報告されました。

その中で、私たち柔道整復師に関わるものとして「療養費」があります。令和4年度の後期高齢者分の柔道整復療養費件数が約9万5千件、費用額が約9億6千万円でした。栃木県内の「あはき」等全体を含めた療養費の費用額（後期高齢者分）は例年21～22億円でしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少し、令和3・4年度とその影響を受けて費用額は留まっている状況です。

また、協議事項では「健康調査受診率」の向上につながる取り組み方について、各委員から意見が述べられました。

私たちの接・整骨院は、多くの高齢者が来院する場でもあります。患者さんとのコミュニケーションも取りやすく、その利便性を生かして待合室にポスターの貼付やパンフレットなどを配布することも可能です。何より当会だけでも352軒の施術所があるので、啓発活動の場としての利用価値を報告しました。栃木県のポスターなどは各市町によって作成されており、今後は県としても検討していくとのことでした。

今回このような場に委員として参加することができたのも、日頃からの栃木県後期高齢者医療広域連合との協力体制があつてのことです。ほかにも保険証の切り替え時に県民に配布するリーフレット＜接・整骨院にかかるとき＞の作成にあたり、当会に事前通達していただき、その内容に関して協議できるなど良好なスタンスを保っています。

後期高齢者数は、2023年に団塊の世代の7割が75歳に到達し、2025年には団塊の世代全員が75歳以上となり、日本の人口の2割が後期高齢者となる見込みです。栃木県では、令和5年度の75歳以上の総数は約29万人、そのうち100歳以上は約1,200人います。

このような療養費の動向や人口動態など、さまざまなデータを分析し活用することで、私たちの事業や業務につなげることができるのではないかと思います。次第です。

保険部長 鈴木忠夫

山積する問題の解決に向けて

令和5年度の関東・東京合同連絡会議が11月11日、日整会館で開催され、関東地区1都7県の間でさまざまな問題や課題の共有と、それらに対する意見の交換が行われた。

日整からは、長尾会長と竹藤副会長が出席し、日整と厚労省の動向や、マイナカードを利用したオンライン資格確認への対応状況などを報告した。

《主な協議内容》

1. オンライン資格確認導入に向けての各都県の対応状況と問題点
2. 首都圏直下型地震や災害時への対応および訓練状況などへの質問
3. 会員減少とそれに伴う会費収入減少への対策、事業の見直しおよび会員収入増につながる新規事業（介護関連事業）、新規会員増加への取り組みについて
4. 違法広告への対処について
5. 接骨院・整骨院の認知度向上事業について
6. 後期高齢者医療の患者照会廃止事例について
7. 施術管理者・更新研修制度導入の提案

以上、業界が直面している問題点について、各県の執行部と「腹を割った」話し合いが行われ、さまざまな問題への対策の手がかりを得ることができました。

経理部長 塚原 剛

学術論文、求む

日整学術・生涯学習講習会

11月18日、日整会館で学術・生涯学習講習会が開かれた。

最初に、トルコ・シリア地震での災害支援活動に国際緊急援助隊（JDR）医療チームの1次隊として派遣された、日整災害対策室室員の塩見猛会員（北海道）から活動報告があった。

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・PT・柔整師・医療調整員ら75名で構成された医療チームの中で柔整師は1名だけだったのは少し寂しい気がする。

派遣期間の3週間、支援物資は使用できないため生活用品はすべて自前で用意、氷点下にもなる極寒と暴風の中での過酷な闘いであつたらしい。

今回はロジスティシャン（物資調達管理調整員）として派遣されたが、リハビリテーション室が立ち上がってからは、捻挫・打撲はもちろん骨折・脱臼の施術も行った。資機材の不足のため使えるものは何でも利用せざるを得ない。固定も段ボールで代用したこともあったそうである。

柔整師は、医療資源が限られた災害現場でもその力を十分に発揮できる職種であり、今後日本国内でも発生するとされる大規模災害にも柔整師が即応できるよう準備を望むと結んだ。

2次隊に派遣された森倫範会員（神奈川県）からは、災害対策室からの提案があり、会長直轄の災害対策室を立ち上げたが、対策室の役割は災害に強い組織

づくりを基本に、実際の災害現場で多職種と密に連携できるための必要な体制を整えていくことであると報告した。（現地活動状況の詳細は「日整 Feel ! Go !」Vol.264・2023年4月春号を参照）

続いて行われた徳山日整学術部長の講演では、匠の技の日整での研修は残り数回となり「今後は各県へ持ち帰り各社団で行うことになる」と報告があった。

また、学術論文数について、エビデンス（科学的根拠）に基づき統計解析された論文の本数はこれまで柔整師が8本、鍼灸師約4万本、PTが約40万本という結果をもとに柔整論文数が乏しいことを指摘し、それが柔整術・学が広く認められない一因となっているのではないかと話していた。

また、医師・歯科医師の治療ガイドブックには、必ず標準治療が記されているが、柔整師のガイドブックには標準治療に関する記述がないとも話されていた。つまり「経験に基づくだけでエビデンスがない」と、ほかの医療関係者からは指摘されている。柔整学の構築と科学的根拠に基づいた施術の必要性を訴えた。

日整の事務局に論文作成のひな形が置いてあるそうなので、我と思う方はぜひ柔整学構築に寄与する論文をお願いしたい。

副会長 江原義明

母校愛という名のもとに

10月28日、東北柔専OB会茨城栃木合同勉強会が（公社）茨城県柔道整復師会会館にて3年ぶりに開催され、18人が参加した。

事例を交えて保険請求やオンライン資格申請、基準緩和型通所サービスAなどに関わるディスカッション



が行われ、支部会員同士活発な意見交換をした。

会場を移した懇親会では、平均年齢は少し高めだが、母校愛と郷土愛が強いエネルギーあふれる漢たちの集いとなった。最上階から望む市街地の夜景と絶品の中華料理と酒に酔いしれ、最後は全員で肩を寄せ円陣を組み、母校に代々伝わる「柔専節」を合唱した。卒業してから何十年経っても全員が歌えることに驚きと感動を覚え、盛大な拍手にて終宴となった。

来年の開催地は栃木県なので、より良い学びと宴席を設けられるように、できるだけ多くのOB会員に参加をいただきたい。

那須支部 古内秀直

新学術部シリーズ

Innovative Academic Department Series

付設診療所編

とちのきクリニックでの症例をご紹介します



原因不明の不安に向き合う

【症例】

- 52 歳女性・専業主婦
- 主 訴：腰痛・右大腿部痛
- 既 往 歴：舌癌疑い（通院経過観察中）・うつ病・高コレステロール血症

【経過】

令和 4 年 10 月頃から腰痛・右大腿部痛を発症していたが、経過緩慢のため、令和 5 年 4 月に宇都宮セントラルクリニックへ検査を依頼した。

MRI 画像所見から腰椎椎間板ヘルニアと圧迫骨折は否定された。右 L5-S1 結合神経根の状態を指摘されるも正常変異で、疼痛の原因は特定できなかった。

しかし、その後も疼痛著明なためにペインクリニックへ依頼したところ、整形外科での診察を勧められることとなり、「とちのきクリニック」に診察を依頼した。

うつ病と高コレステロール血症に対する投薬を受けているが、投薬の影響（副作用）と疼痛の因果関係は不明。

【とちのきクリニックでの診察】

腰椎 MRI およびレントゲンの画像所見からは、左 L4-5、右 L5-S1 に軽度の狭窄がある。5 ～ 10 分の歩行で左下肢に痛みが出現し、徒手検査（SLR テスト・前方インピンジメントテスト・パトリックテスト・ニュートンテスト・徒手筋力テスト等）はすべて異常がなかった。

【診断・説明】

担当医師によると「狭窄による神経根症状の可能性はあるが、診察上は神経所見などなく、関節由来の関連痛などの可能性もある」とのことであった。

1 年以上の痛みが続いていることから、除痛治療としてではなく、診断を目的に、狭窄部へ神経根ブロック注射や椎間関節ブロック注射をする方法があり、施行後に

痛みが軽減すれば狭窄されているところが原因と考えられるとのことで、脊椎外科（専門医）への相談を勧める結果となった。

【まとめ】

患者本人も、痛みの原因がはっきりしないことに不安を抱いており、「原因究明の手段があるなら受けてみたい」と話していた。

患者の症状だけでなく、不安に対するアプローチも大切なことであるとあらためて痛感した。

学術部 大芦昌代

も の の ふ コ ラ ム

ばんぼく知らぬはめんぼくない

昨年 10 月某日、とある会合で高橋克法参議院議員が述べた一説、大野伴睦元自民党副総裁（1890 ～ 1964）は義理と人情に厚い人だったという。



大野の在宅時に自宅に泥棒が入った際、外遊のために用意していた金を渡し、「今これだけしかないが、もっといえるのか？」と聞いた。泥棒は大野の思いもよらない対応にのまれ、逆に「これから一生懸命働いて、必ずこのお金をお返しに来ます」と言ったというエピソードがあるそうだ。

また、「政治は義理と人情だ」「サルは木から落ちて木サルだが、代議士は選挙に落ちればただの人だ」などの名言を残している。酒豪としても知られ「酒は飲む以上、わけがわからなくなるまで飲むべきだ」と言い放ったともいわれている。

亡くなって 60 年近く経つが、岐阜県出身者で最も首相の座に近づいた政治家と呼ばれ、岐阜羽島駅前には銅像が建てられている。

実は栃木県にもゆかりのある人物で、茨城県日立市から足利市に至る国道 293 号の工事推進に尽力しており、那珂川町と茨城県常陸大宮市との県境にある峠は、大野の名をとって「伴睦峠」と名付けられている。

不識院後光守

門外不出の知恵と技を大公開 ～師業 50 年の歩み～

11月12日、割烹石山にて開催された第10回刈屋名倉会臨床研究会に初参加してきた。

刈屋名倉会は刈屋太郎会員の弟子および孫弟子一門が、骨折・脱臼などの外傷に対する「ほねつぎ」の学問と技術を研鑽する会として平成24年に発足した。年を重ねるごとに会員も増えていったが、刈屋会員が柔道整復師養成校にて教鞭をとっていたこともあり、教え子である養成校の教員や学生のほか、多くの柔整師からも参加希望があったことから「一門以外にも門戸を開き、『ほねつぎ』の勉強をしたい方は誰でも参加できる研究会になった」と刈屋名倉会会長の岡本博志会員が話してくれた。

刈屋名倉会会員は名倉堂刈屋接骨院OB、勤務者を合わせて50人とのことだが、この日は倍の101人が参加し、東京・神奈川・千葉・埼玉など関東一円はもとより、遠方からは滋賀・和歌山からも参加があったようだ。

最初に、協賛の医療機器業者の最新機器の特性を生かした物理療法について説明があった。次いで、会員発表の「臨床での脱臼整復の一例」、刈屋門下の柔整学校教員の発表「業界の現状と展望」と続いた。

岡本会長による講習「肩関節の超音波画像観察法」では、多くの事例に対する骨・筋・腱などへのプローブ操作法や読影、評価法を丁寧に説明してくれた。

特別講演は主宰刈屋会員が「ほねつぎ50年」と題し、臨床でのあらゆる骨折・脱臼の整復法を基本的な方法に加えて独自の技法まで、画像を交えて披露してくれた。

また、現在も門下生との徒弟関係を継続している理由を、「業務のみならず寝食を共にすることで、門下生の日常生活習慣の安定や人間力の向上に繋げること」とし、「門下生同士のコミュニケーションを図り、技術の研鑽を積むための土壌が大切だ」と述べた。

最後に自身の格言として、「武田信玄の『一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だといい訳が出る。』を胸にこの仕事と向き合い、誇りを持っている。そして、柔道整復師が大好きだ」と声高らかに述べ、拍手喝采のなか閉会した。

その後、刈屋会員ご夫妻の古希祝い、懇親会および祝賀会が盛大に開催された。刈屋一門の芸達者たちが織り成す余興が祝宴に花を添え、爆笑や失笑に包まれるなか閉幕した。

出席した感想としては、外傷を治すことも業績を上げることもちろん大切なことだが、人を育てることも同様で、自分の人生を懸けて学んだ匠ともいえるべき知識、技術を後進に継承することはアイデンティティやイズムが生き続ける、つまりは伝承となり系譜となることに繋がるはずだ。



今回、羨ましいぐらいに感じたのは、人に愛されること。家族に、門下生に、取引先に、患者さんに、深い愛情を注ぎ続けたことが本会に辿り着いたのだろう。多くの出席者の絶えない笑顔がそれを物語っているように感じた。

これから「刈屋名倉研究会」に参加希望される方は、下記QRコードからグループLINEに登録し、メッセージに氏名、所属（柔整師は施術所名、学生は学校名と学年）を入力すれば開催の案内が届くことになっているのでご検討を願いたい。



広報部 古内秀直

令和5年度 第3回宇都宮支部会・新年会

日時 令和6年1月28日(日) 18:00～

場所 ホテル東日本宇都宮

講演会 「セクハラ・わいせつの被害者とならないために」

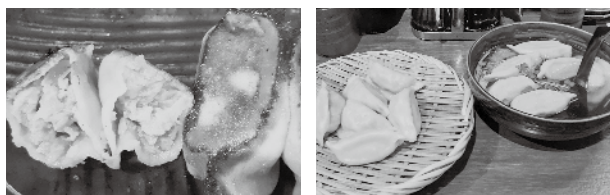
講師 やすだ しんどう 安田 眞道 弁護士

宇都宮市生まれ、市立桜小学校・陽西中学校を経て早稲田大学高等学院～早稲田大学法学部卒
都内の法律事務所へ勤務ののち宇都宮市にて法律事務所を開設。現栃木県弁護士会会長

優しく包まれたいあなたに… とちぎ“健康かも”包みもの対決

■宇都宮 からだ和む和の中へ

人間の生命活動に必要な五大栄養素を含み、完全栄養食とも言われる餃子。それだけでも健康食といえるのに、さらに医食同源をコンセプトに、中国式薬膳餃子を提供する「^{わか}和の中」さんの暖簾をくぐってきました。



いただいたのは、薬膳スパイスを餡に練り込んだ薬膳焼餃子・ゆで餃子、薬膳スープ餃子。“焼き”の皮はカリッと、“ゆで”はもちもちで、どちらも中から肉と野菜のうま味がジュワ〜とあふれ出て、口の中に優しさが広がります。ニンニク醤油かゴマ醤油でいただきますが、なくてもいいくらい。

薬膳スープは香りがすでに健康。クセのない香辛料の香りと美味をまとった滋養が、疲れた細胞たちに染みわたります。

宇都宮市駒生町、とちぎ健康の森の近くにあって立地もまさに健康志向。年末の疲労、正月の暴飲暴食を薬膳餃子で癒してみませんか？

■佐野 冬の私は弱いから

佐野といえば佐野ラーメンですが、その定番のお供といえばやっぱり餃子です。ラーメン店の数だけ餃



子がある中で、今回は変わり種の「しそ餃子」を提供する「^{めん}家 めをり」さんと、ジャンボ餃子が看板商品の「永華」さんを訪ねました。

まずは「めをり」さんの「しそ餃子」を実食。熱々の餃子を口に放り込むと、モチモチとした食感の皮の中から肉汁の旨味やキャベツの甘さとともに芳醇な青じその風味が広がります。青じその淡い緑色はまるで翡翠のよう。癖になりそうな美味しさです。

続いて「永華」さんに足を運び、ウワサのジャン

ボ餃子を頼むと…で、でかい…。通常の2倍以上はある1個70gで、厚めの皮にニンニクが効いた具材がたっぷりと包まれていて、とてもジューシー。ビールとともに流し込むと「もう最高！」です。

ジャンボ餃子では、ニンニクに含まれるアリシンの効果で疲労回復や精力増強、しそ餃子では、青じそに含まれるβカロ

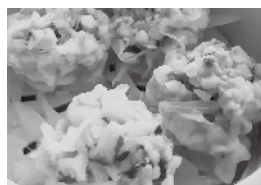


テンやビタミンCによるアンチエイジングや美肌効果が期待できそうです。佐野餃子は、女性には美肌を、男性にはみなぎるパワーをご提供します。ぜひご賞味あれ。

■鹿沼 うまいシウマイ届けたい

あの「^{しやう}陽軒のシウマイ」の初代社長、野並茂吉氏が鹿沼市出身であることに因んで、鹿沼商工会議所が地域活性化のために起案した名物「かめまシウマイ」。現在は60軒以上の取扱店があります。

その中でも健康目線で選ぶなら、まずは東武新鹿沼駅前の「みっちゃん蕎麦」のニラそばシウマイがオススメです。



タネは、豚挽肉と粗みじんにした豚バラに、ニラ茎・蕎麦の実・大葉・干し椎茸が練り込まれ、ほどよい肉



感にシャキッとしたニラ茎ともちもちの蕎麦の実がアクセントになっています。焼売に不足しがちな食物繊維やビタミン・βカロテンなどの栄養素も摂れるヘルシーな一品です。

健康志向もわかりますが、実は私、日光例幣使街道御成橋前にある「鹿野精肉店」のかめま和牛焼売も好きなんです。かめま和牛を使ったタネの上にはミニステーキが鎮座し、牛がギュウッと包まれています。肉汁は男の点滴です。カロリーなんて言葉は御成橋から黒川に流してしまいました。

商工会にはマップも用意してありますので、皆さんもお好みのシウマイを探しに歩いてみませんか？

広報部 Onzk・みかすけ・フジッコ

My Box

支部リレー投稿

第237走者 塩谷支部 下野宗則

裏山の厄介者

私の家の裏山には竹林があり、春にはたくさんのタケノコが出てきます。地主さんには好きに採っていいと言われているので、毎年おいしくいただいております。



しかし、地主さんのお母さんが亡くなり、竹林の手入れをする人がいなくなってしまいました。2年も放置状態にされると、竹の繁殖力は驚異的で、今まで竹のなかった土手までみっちり生えてしまい、わが家の生活空間は日が差し込まず、暗くジメジメ。

そこで、地主さんの了承を得て裏山の厄介者となった竹の伐採をすることにしました。

最初は楽に作業をしたいと思い、amazonでハンディチェーンソーを購入。切断は早いですが目詰まりするのが問題となったため、次は「BIGBOY」という大きなノコギリを購入。しかし、切断に時間がかかり、ブユ、蚊、ダニの被害でこれも断念。最後に造林鎌を購入。これを使うとあれだけ大変だった伐採が一刀両断で、竹の密集も虫の被害も受けず簡単に済みました。

毎朝30分の伐採作業を繰り返して、週末には切った竹の枝を鉋で落とし、幹は山に重ねていきましたが、意外と後始末のほうが大変でした。



9月中旬から始めて10月末に作業が完了。やっと家の周りも明るくなり、山から来る害虫、特にムカデの襲来も減り平穏になりました。

その作業の代償として右肘外側上顆炎になり、現在も自身で治療中ですが、これが結構痛い。結果として、患者さんの気持ちがわかった今日この頃です。これも仕事の糧にしたいと思います。早く治して来年も現れるだろう「厄介者」に備えたいと思います。

今回は那須支部にバトンタッチです。

支部だより

宇都宮支部

必携…ホコリかぶっていませんか？



11月18日、とちぎ福祉プラザにおいて第2回宇都宮支部会が開催された。

今回は、鈴木保険部長による「保険講習会」が開かれ、日増しに厳しくなる保険者からの圧力に対して、療養費の正しい知識は必須であるとし、手元にある「柔道整復療養費の手引き（必携）」を活用することを促した。

また、不支給などに対する審査請求についても、保険者に侮られることなく、自分たちの正しさを証明するためにも、できるだけ行うことを喚起した。審査請求には、説得力のある趣旨および理由が必要になる。いかに論理的に伝えることができるか、文章の書き方によっても結果が変わってくる可能性がある。一人で対処しようとせず、ぜひ保険部を頼ってほしい。

通信員 小野塚和史

小山支部

良言入耳三冬暖

One kind word can warm three winter months

11月26日、小山パレスホテル「和風ダイニング彩華」にて小山支部秋季支部会が開催された。

山口支部長から新入会の荒井愁平会員の紹介、令和5年度小山地区公衆衛生大会表彰（木下永人）のほか、来たる第44回関東学術大会神奈川大会において、長秀和会員の発表予定などについて報告があった。

懇親会には、矢尾板クリニックの矢尾板勤院長、佐藤勉衆議院議員秘書を来賓に迎え、私たち柔道整復師への温かいエールをいただいた。



4年ぶりの開催となり、冬の訪れとは裏腹に、世代を越えた仲間同士の話に花が咲き、厳しい時世を乗り越える英気を養えた。

通信員 木下永人

2024 (令和6年)

行事予定

※定例診療日は第1・第3日曜日の
10:00~12:00を基本としますが、
諸般の都合により、日時・スタッフ
等が変更となる場合があります。
※定例診療の受付は9:30~11:30

1月

- 5日(金) 仕事始め
13:00 新年あいさつ回り
8日(月) 療養費支給申請書必着日
12日(金) 16:00 監事会 [当会館]
18:00 報告会 [当会館]
20:00 とちのき2月号編集会議 小森・丸山・小野塚
14日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・館・星野登・小林
16日(火) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
17日(水) 20:00 理事会(支部長参加)
19日(金) 20:00 とちのき校正会議 小森・小野塚・大関
23日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
25日(木) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
26日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
28日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・岡本・鈴木勝・大木
栃木県郡市町対抗駅伝競走大会 [カンセキスタジアムとちぎ]
30日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・館

2月

- 4日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・高野・大芦・小林
8日(木) 療養費支給申請書必着日
13日(火) 20:00 とちのき3月号編集会議 小森・大関・植木
15日(木) 20:30 理事会 [当会館]
16日(金) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
17日(土) 17:00 令和6年賀詞交歓会 [ホテル東日本宇都宮]
18日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・館・高橋・大木
19日(月) 20:00 とちのき校正会議 小森・植木・三上
20日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
21日(水) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
22日(木) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
25日(日) 10:00 税務相談 [当会館]
27日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・植木

(変更や追加などはホームページをご覧ください)



年末・年始の緊急連絡先

石井 総務部長 ☎070-4392-0239
事務局(齋藤係長) ☎080-9292-2551

川 柳

塩谷支部 船橋 仁和

リアクションでかいと話噓っぽい
現状を納得させる膂の傷口
ほどに体動いた時もあり

information

お知らせ

会員数

令和5年12月1日現在
会員数

370名
8名
352院

研修柔道整復師
施術所数



会員の異動状況報告

- ・宇柔整251 保坂 典 ほさか整骨院
〒320-0051 宇都宮市上戸祭町702-4
☎028-612-8187 令和5年11月24日 入会
- ・佐柔整41 藤田 弥生 にいじま鍼灸整骨院
〒327-0835 佐野市植下町456-2
☎0283-85-7760 令和5年12月1日 入会
- ・小柔整64 玉野 泰之 たまのはりきゅう整骨院
〒323-0811 小山市犬塚8-7-12
☎0285-28-0303 令和5年11月30日 退会

訃報

宇都宮支部 保坂 日向 会員(49歳)がご逝去
されました。
那須支部 高梨 典彦 会員のご尊父様
(仁一様 96歳)がご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様には
ご会葬を賜り誠にありがとうございました。
那須支部 高梨 典彦

ニューフェイス

①支部名 ②生年月日 ③施術所名
④施術所住所 ⑤TEL ⑥出身校 ⑦入会年月日
⑧趣味 ⑨抱負

保坂 典

ほさか てん

- ①宇都宮支部 ②平成4年11月21日
- ③ほさか整骨院 ④宇都宮市上戸祭町702-4
- ⑤028-612-8187 ⑥帝京大学 宇都宮キャンパス
- ⑦令和5年11月24日
- ⑧キャンプ・スノーボード・格闘技
- ⑨柔道整復師の必要性を発信し、一人一人がケガで悩まない人生を送れる
よう尽力したいです。



ニューフェイス

①支部名 ②生年月日 ③施術所名
④施術所住所 ⑤TEL ⑥出身校 ⑦入会年月日
⑧趣味 ⑨抱負

藤田 弥生

ふじた やよい

- ①佐野支部 ②昭和58年6月10日
- ③にいじま鍼灸整骨院
- ④佐野市植下町456-2 ⑤0283-85-7760
- ⑥朋友柔道整復専門学校 ⑦令和5年12月1日
- ⑧愛犬とあそぶこと
- ⑨栃木県柔道整復師会の一員としてふさわしい柔整師となれるよう
がんばります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



編集後記

私、恥ずかしながら先日かかりつけ医から「多血症」の
疑いをかけられました。専門の血液内科を受診し、DNA
も問題なし、ホルモンも問題なし、残るは睡眠不足と肥満。
睡眠不足は息子の夜間時の呼吸管理があるため、ついに「肥
満解消のための努力を」となりました。

3か月後の受診で5kg減らすことはクリアしましたが、
検査の数値は変わらず。このまま数値が下がるまでひたす
らダイエットを続けることになりました。近い将来、私の
変化に驚く皆さんの顔を楽しみに頑張ります。ドラえもん